

平成21年度事務事業評価シート (20年度実施事業分)

事業番号	11 05 11	中期総合計画主要施策番号	-	担当課	部・課	建設部河川課	
事業名	河川調査事業			内線	3437		
				E-mail	kasen@pref.nagano.jp		
事業の概要等	事業の目的	・洪水による被害を軽減し、県民が安全で安心して生活できるよう、ハード対策とソフト対策が一体となった減災対策を推進するため、必要な基礎調査や基礎資料の収集を行う。					
	事業の必要性	[現状(事業の目的との間にどのようなギャップがあるか)] ・県管理河川延長4,802.7kmのうち要改修延長は2,194.5kmあり、整備率は依然低く、毎年のように水害が発生しているが、河川改修や河川の維持管理についての目標等を記載する河川整備計画の策定が12圏域中8圏域が完了していない。 [原因分析(ギャップが発生している原因は何か)] ・河川計画立案のために必要な基礎資料の収集には、ある程度時間と経年のデータが必要である。					
		[課題の特定(事業の実施により解決しようとする課題は何か)] ・ハードとソフトが一体となった減災対策を推進するための河川計画の立案には、河川の流況の基礎資料の収集を行う必要がある。					
		事業内容	・水文調査(水位観測、流量観測)、気象調査(雨量観測) ・水辺の国勢調査などの基礎調査や基礎資料の収集 ・河川整備計画策定に向け調査や河川法に基づく手続き				
	実施期間	不明 ~	根拠法令等	河川法			
成果と達成状況	事業の目指す成果	達成度(期待どおり)の判定基準(H20)		達成状況		評価	
	水文、気象資料の蓄積、河川環境基礎資料の収集、河川整備計画の策定を行い、河川の減災対策の資料とする。	H20の達成目標は、水文・気象資料の蓄積 1河川、河川水辺の国勢調査 2箇所、南佐久圏域河川整備計画の策定をすること。		・水文、気象資料の蓄積 1河川実施 ・河川水辺の国勢調査 2箇所実施 ・南佐久圏域河川整備計画を策定し、国から認可された。		a.期待以上 b.期待どおり c.やや下回る d.期待以下	
事業コスト	区分	単位	19年度	20年度	21年度(当初)	20年度の概要	
	最終予算額 (A)	千円	43,502	26,998	10,052	国庫・県単	県単
	決算額 (B)	千円	29,769	22,710		実施方法	直接・委託
	B(H21はA)のうち一般財源	千円	18,906	18,694	4,158	歳出節別内訳等	
	概算人件費	人	1.00	1.00	1.00	・報償費:140 ・委託費:22,486 ・旅費:33 ・賃借料:51	
	概算事業費 (B(H21はA) + C)	千円	36,909	29,859	17,201		(単位:千円)
事業実績	内容	単位	19年度	20年度	21年度(予定)	左記以外の20年度の実績	
	河川整備計画策定	箇所	1	1	6		
	水文観測、気象観測	箇所	4	1	0		
	水辺の国勢調査	箇所	10	2	1		
事業の課題	区分	判定・説明					
	事業のニーズの変化	増加	横ばい	減少	判定の説明	・県民の生命、財産を守り、洪水による被害を最小限に抑える減災対策のための河川整備の資料を作成する事業であり、必要性は高い。 ・県管理河川の調査、計画は、河川法で県が行うこととなっている。	
	県の関与を見直す余地	余地なし	当面余地なし	余地あり			
	有効性を高める余地	余地なし	当面余地なし	余地あり			
	効率性を高める余地	余地なし	当面余地なし	余地あり			
	課題の総括	・期待通りの成果が得られているが、県内には河川整備が必要な河川が多くあり、県民のニーズも高いことから今後も継続的な調査の実施が必要である。					